



いまは  
今

vol.246

発行 今井町町並み保存会  
 発行日 令和2年12月1日  
 電話 0744-22-1128  
<http://www3.kcn.ne.jp/~imaicho/>  
 e-mail imaicho@m3.kcn.ne.jp

◇ご意見・ご感想は  
今井まちづくりセンターまで

## 第43回全国町並みゼミ

### 桜川市真壁大会

11月22日(日)全国町並みゼミが新型コロナウイルス感染症対策のためオンラインで開催されました。

今回のテーマは「これからの町並み保存とは?たび重なる災害からの復旧と、新しい生活様式の中で」です。

会場となった茨城県桜川市真壁町は戦国時代末期に真壁氏が築城された真壁城の西側に町並みが形成され、後に浅野氏によって整備されました。

古地図と比較してみても当時の町並みが現在でも残っていることがわかる貴重な町並みです。

小山工業高等専門学校河東義之教授の講演内容を以下紹介します。

真壁町の保存活動の特徴は平成8年に文化財保護法の改正により創設された

「文化財登録制度」を活用し、現在、町内に102棟の登録有形文化財を有している点で、その多くは江戸時代の民家にはほとんど見られなかった薬医門、長屋門や高麗門などの本格的な門だそうです。

その後、平成20年に施行された「歴史まちづくり法」の制度を活用し、真壁陣屋跡地に建っていた公民館の老朽化に伴い平成23年に「真壁伝承館」が建設されました。平成22年には国の「重伝建地区」に選定されましたが、翌平成23年には、東日本大震災のため伝統的建造物の多くが罹災しました。震災直後から、歴史まちづくり法や重伝建制度を活用し、伝統的建造物の復旧に取り組まれた結果、罹災建造物のほとんどがとり壊されることなく、復旧できたということです。



真壁のまちづくり団体は平成5年に発足した「ディスカバーまかべ」で、ホームページによると、吾妻会長の下、約20名の会員の皆さんがフットコンテスト、歴史的建造物調査や活用、かわら版やイラストマップの発行、町並み案内看板の設

置、登録文化財制度の行政への提言、シンポジウムの開催、小中学生対象の真壁の歴史講座等を行っておられ、全国ゼミではディスカバーまかべのボランティアの皆さんがユニークな町の紹介ビデオをYouTubeで発信されました。

来年の全国ゼミは奈良で開催されます。真壁の会長が今回挨拶の中で今井町町並み保存会を語ってくれましたので今井町にも寄っていただき、現状を全国の方に見ていただく良い機会となります。皆さまにはご協力をお願いいたします。

はならあと2020

### サステナブル講座

若林 稔

今年のはならあとでは「環境」「食」「自然」などをテーマにサステナブル講座を開催しました。

環境を主題に講師をお呼びしたことで、コロナ禍の中での開催で逆に環境問題をひっ迫した臨場感でとらえることが出来てかなりの成果がありました。

① 海の環境について 城者定史

へドロに汚染された大阪湾に30年近く潜り、ごみを拾い続けながらアマモを植え続け、浄化に努めてきた記録も撮影し続けたことで汚染物の投棄場所が遥か上流や海外という問題を提起され、環境美



化を啓蒙されました。

## ② 脱プラスチック&災害時にも役立つ

ひろしき講座 北浦由香

買い物で使われてきたレジ袋などの脱プラスチックの手近な代替品として風呂敷包みの多様性を実際に講習に組み込んで説明され、更には災害時でも使える事例にまで及んで脱プラスチック講義をされました。

## ③ 朗読会 ほんじもよお語り

井上美和子

。原発事故で福島から綾部に移住してきた苦渋と受け入れてくれた喜びの相反する苦悩を語り部として原発災害を訴えておられたのが悲痛にさえ思えました。

## ④ 映画上映会 ボルネオの熱帯林を

破壊するダークマナー

ボルネオの熱帯林を破壊し、ダークマナーが暗躍した頃、日本では安い外材の波に押され、合板の住宅が氾濫して、国内産材を圧迫しただけでなく、住宅環境を悪化させてアレルギー体質の人が急増してきた環境問題の方が大きな被害だと思いました。

国内産木材の復活に大きな障害を与えたのをこの映画から改めて確認しました。

## ⑤ 古民家と左官

中村斗茂栄

阿伽陀屋若林亭修復左官を全うしてくれた彼から学んだのは今井町の古民家を材料にして全国の名左官を呼んで、自分

が弟子になって技術を学んでいる姿でした。全国の左官屋さんが師匠だという素晴らしさと、全国から名人が、有名な「今井町の壁が塗れるのなら」と言って来町してくれました。

この講座で中村斗茂栄氏の知識と語りのうまさは左官と同様卓越していました。

## ⑥ 学校給食を中心とした

オーガニックな町づくりのお話会

学校給食が給食センターで一括調理されているところが多い中、橿原市はまだ頑張っているそうです。地産地消という地元のもものは地元で消費することが当たり前になるといいと思いました。

## ⑦ 未来のために知っておきたい

海とプラスチックの話 原田禎夫

2050年には魚の数よりはプラスチックごみの方が多くなるという統計が出ているそうです。私たちは何が出来るか、大きなことも大事だが今自分がゴミを出さない努力をすることの大切さを再確認しました。

## ⑧ 白神の自然とマタギ文化 小池宏美

弘前大学の探検部で白神の山並みに入りマタギと出会ったところからもう奈良には帰ってこないだろうなと感じました。

東北のマタギが守ってきた自然との共生、ともすれば奢りやすくなる人間の欲を「山からの授かりもの」という言葉に変えて、体に染み込ませてきた山との共生

を紀伊半島の文化にも再生できないかなと感じて講師を依頼しました。

「有害動物とどう対応したらいいですか」という質問に「獲って食べたらいいです。美味しく食べてあげて下さい。決して捨てないでください」という回答

「熊と出会ったらどうしたらいいんですか」という質問に「出合わないように注意することです。出会ったら熊の方が強いんです。あきらめて下さい」という答え  
どちらも山を知ったら当たり前のことなのにあまりにも山を知らなくなりすぎている人が多くなっていることを実感してほしいなと思いました。

## ⑨ 古民家の修復

井上大工

主に堺で古民家の修復を数多く手がけた棟梁は実践の技や、工夫の数々を阿伽陀屋若林亭を例にしながら、苦労したことや無駄を出さない工夫、古民家の持っている環境が体に良いことなどを解りやすく講義してくれました。

## 今井往来

12月25日(金) ～ 1月5日(火)

旧米谷家・まちや館・まちづくりセンター休館(センターは6日まで)

12月30日(水)

今井町年末特別警戒

※今年は人数を制限して開催します